

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 30 年 1 月 24 日

計画の名称	「清流の国ぎふづくり」に資する良好な河川環境の創出							
計画の期間	平成25年度	～	平成28年度	(4年間)	交付対象	岐阜県		
計画の目標								

平成23年7月に発表した「清流の国ぎふづくり宣言」のもと、「清流を守る」「清流を活かす」「清流を伝える」の3つの柱と10の施策を掲げた「清流の国ぎふづくり」を進めるため、河川魚道の整備・改良を行うことにより「水みち」の連続性を確保し、魚類の遡上・降下環境の改善を図る。また、まちづくりと一体となった河川環境整備を行うことにより、良好な河川空間の創出を図る。

計画の成果目標（定量的指標）

- ・ 県管理魚道のうち、河床が低下したりして魚類の遡上・降下が困難となっている箇所の魚道の整備および改良を行うことで、魚類の遡上・降下が可能となる良好な河川環境を創出する。
- ・ 地域と連携し良好な河川空間の形成に取り組む「かわまちづくり計画」に基づく河川管理施設の整備を行う。

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の現況値及び目標値

備考

魚類の遡上・降下が困難であり整備・改良が必要である魚道数に対する、整備・改良済み魚道数の割合。	整備・改良済み魚道数 整備・改良が必要な魚道	当初現況値	中間目標値	最終目標値	
		(H25当初)	(H26末)	(H28末)	
		0%	—	100%	
「かわまちづくり計画」に基づき整備する護岸の延長		0km	—	0.35km	

全体事業費	合計 (A+B+C)	589百万円	A	589百万円	B	-	C	-	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0%
-------	---------------	--------	---	--------	---	---	---	---	---------------------------	----

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
岐阜県事業評価監視委員委員会において意見聴取	平成30年1月24日
	公表の方法
	岐阜県ホームページに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																
A1 河川事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
									H25	H26	H27	H28	H29			
A-1	河川	一般	岐阜県	直接	-	長良川圏域総合流域防災事業	魚道改良・整備、親水護岸等	郡上市、北方町						219		
A-2	河川	一般	岐阜県	直接	-	揖斐川圏域総合流域防災事業	魚道改良・整備、親水護岸等	揖斐川町、大垣市他						119		
A-3	河川	一般	岐阜県	直接	-	庄内川・矢作川圏域総合流域防災事業	魚道改良・整備	瑞浪市						46		
A-4	河川	一般	岐阜県	直接	-	木曾川・飛騨川圏域総合流域防災事業	魚道改良・整備	下呂市、御嵩町他						181		
A-5	河川	一般	岐阜県	直接	-	宮川・庄川圏域総合流域防災事業	魚道改良・整備	飛騨市、高山市他						24		
合計													589			
B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
合計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考				

C 効果促進事業				直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象							H22	H23	H24	H25	H26		
										合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>計画に基づき、魚道の整備及び改良を実施し、魚類の遡上・降下が可能となる良好な河川環境を創出することが出来た。</p> <p>計画に基づき、「かわまちづくり計画」に基づく護岸整備の実施を概ね達成し、良好な河川空間を創出することが出来た。</p>
--------------------------------	--

II 定量的指標の達成状況	指標① 魚類の遡上・降下が困難であり整備・改良が必要である魚道数に対する、整備・改良済み魚道数の割合。	最終目標値	100.0%	目標値と実績値 に差が出た要因	目標値を達成している。
		最終実績値	100.0%		
	指標② 「かわまちづくり計画」に基づき整備する護岸の延長	最終目標値	0.35km	目標値と実績値 に差が出た要因	目標値に対し、約90%の実績となっている。 糸貫川は平成26年度に目標を達成したが、水門川においては、関連する他事業との工程調整の結果、平成28年度中に施工不可能な区間が生じたため、差が生じている。
		最終実績値	0.32km		
		最終目標値		目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値			

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)	
--	--

3. 特記事項（今後の方針等）

平成29年度以降も新たな社会資本総合整備計画において、引き続き事業の進捗を図り、良好な河川環境及び河川空間の創出を図っていく。